

に死せる者も皆、緑の鳥の體に入り、聖樂園の果實を味ひ、其の流れの水を飲んで生活す。眞正の信者は種々に處理せらるれど、多くは墓に近く天上の安靜を受く。故に回教徒は屢々知人の墓に詣て、死者の靈魂に悦ばれんとせり。

眞正の信仰を懷きし者の靈魂は、雪白の鳥の形をなしてアラア神の玉座に近く巢を造るとは、これ又多くの回教徒が信ずる所なり。復活の日には天地は異象に満たさるべし。月は全く蝕し、太陽は西より出て、戦闘あり、騷擾あり、信仰は全く滅び、黒雲全地を蔽ふべし。天使長イスラフイルの吹き鳴らす喇叭の響に、地は震ひ、城砦と塔とは壊れ、山は平坦になるべし。天の面は暗く、蒼穹は熔け、日と月と星とは海に墮ち、大洋は乾くか、然らずんば激浪怒濤逆捲くべし。人は恐怖れて、男は親又は妻を棄て、母は胸の稚兒を棄つるべし。森の野獸も、牧場の家畜も共に

遁れ去るべし。

吹奏せらるゝ第二の喇叭は、全滅の號令なり。天に住める物、地に住める物、地の下の水に住める物、天使も神仙も人間も動物も、皆死すべし。残るは只アラア神に依つて選ばれたる數人のみ。最後に死すべき者は死の天使アツレイルなり。

四十日、即ち之を脱けば、四十年の間、淫雨降り續くべし。繼て第三の喇叭は、天使長イスラフイルに吹奏せらる。これ審判の召集喇叭なり。此の喇叭の響に天地の空間は死人の靈を以て、充滿せらる。此に審判は始めらるべし。

ジェンナムは、あらゆる恐怖に満てる地獄なり。そこに生える樹の枝は、扭れる蛇にして、其の果實は惡魔の首なり。此の地獄は七段に區分せられ、恐怖、苦痛の烈しさ異なり。第一段に置かるゝは無神論者なり。第二

段に置かるゝはマニケア宗徒及び亞刺比亞の偶像信者なり、第三に置かるゝは印度の婆羅門教徒なり、第四は猶太教徒なり、第五は基督教徒なり、第六は波斯の摩尼教徒なり、第七は信仰を偽る偽言者なり、この恐怖の巻を支配し、苦痛を興ふる者は、猛烈なる天使ザベックなり。

この地獄と天國との間に、アルアラフ(割壁)あり、こは平和歡樂の空なる所、幼者、狂人、痴者、その他、善惡の行爲あらざりし者、こゝに收容せらる。真正の信者は、審問終はり、其の罪償はるれば、「預言者の池」にて身を洗ふ。この池は透明の水を湛へ、一個月旅すべき周囲を有し、聖樂園より流るゝアルカウテル河の注げるものなり、池の水は蜜の如く甘く、雪の如く冷かに、水晶の如く透明なり、一度その水を味はゞ、再び渴を覺ゆることなし。

真正の信者は此の生命の水を飲める後、天使ルシユバンに依つて聖

樂園の門開かる。聖樂園の土地は精良なる小麦の粉にして、香氣強し、砂と礫との代りに眞珠と風信子石とは撒き散らされり、小川の流は水晶の如く清く、緑の岸は花に飾らる。流の水は牛乳なるあり、酒なるあり、蜜なるあり、空氣はサビアの香ばしき風に優りて甘美に、泡立つ泉に冷さる。こゝに驚くべき生命の樹々あり、駿馬その樹蔭を横ぎらんとせば百年を要すべし、枝はあらゆる貴き果實に垂れ下り、之を獲んとする者は自由に味ふを得べし。

此の祝福ある聖樂園の住民は、寶石を以て煌照ける衣服を纏へり、眞珠と金剛石とを鑲めたる黄金の冠を戴き、華美壯麗なる宮殿に住へり、一人の信者に對して、侍者百人、黄金の皿と盃とを捧ぐ。信者は飽くなく食ひ、酔ふことなく飲むを得べし。

大氣は天使メスラフィルの諧調の聲と聖樂園の處女の歌とに響き

渡る樹の枝には無数の鈴懸けらるゝを以て、風に搖れるごとに、人を魅する音を發す。殊に信者にとりて祝福なるは、女性を賜はることなり。地上にて有せる妻の他、黒き眼の輝ける天國の乙女七十二人は、一人の信者に侍せらるべし。是等の乙女は、常に若くして美しく、聖淨無垢に復歸するを得、あらゆる女性の缺點を有せざるものなり。

宿命に對する信仰

マホメットは豫定に對する信仰を以て、戰場に臨む信者の元氣を鼓舞せんとしたるが如し。人の運命は神に依つて豫定せられ、世界の創造以前既に永遠の巻物に記さる。されば戰場に於ても、平和の際に於ても、人の生命は豫定せられしまで續くべし。されば何等の恐怖なく戦をなすを得べしと云ふにあり。

斯かる豫定の信仰によれば、人間の自由意志を全く否定するを以て、

人間の罪惡も亦神の豫定せしもの、人間に責任あるべからずとも云ふを得べきなれど、マホメットの當時、斯かる疑惑を懷く者は絶えて無かりしが如し。

マホメット言行録終

明治四十一年七月二日印刷
明治四十一年七月六日發行

マホメット自行録
定價金參拾錢

著作者 松本 赳

發行者 山縣 文夫

印刷者 青木 弘

印刷所 株式會社 秀英舍第一工場

東京府下北豐島郡東葛城町
大字上駒込十九番地

發行所

東京巢鴨郵便區上駒込山縣邸內
電話下谷四百三十八番

振替貯金口座番號三五五

偉人研究

- (第一編) リンコーン言行録 定價金拾錢 郵税四錢
- (第二編) トルストイ言行録 定價金拾錢 郵税四錢
- (第三編) ガーフィールド言行録 定價金拾錢 郵税四錢
- (第四編) フランクリン言行録 定價金拾錢 郵税四錢
- (第五編) グラッドストーン言行録 定價金廿五錢 郵税二錢
- (第六編) 改 二宮尊徳言行録 定價金廿五錢 郵税四錢
- (第七編) ローズヴェルト言行録 定價金拾錢 郵税四錢
- (第八編) ワシントン言行録 定價金拾錢 郵税四錢
- (第九編) 山鹿素行言行録 定價金拾錢 郵税四錢
- (第十編) 中江藤樹言行録 定價金拾錢 郵税四錢

版元 東京鴨居郵便局山縣内 (五三第番座口金貯替換) 會協版出外内

偉人研究

- (第十一編) 貝原益軒言行録 定價金拾錢 郵税四錢
- (第十二編) ルーテル言行録 定價金拾錢 郵税四錢
- (第十三編) 大石良雄言行録 定價金拾錢 郵税四錢
- (第十四編) 聖徳太子言行録 定價金廿五錢 郵税四錢
- (第十五編) 吉田松陰言行録 定價金拾錢 郵税四錢
- (第十六編) 渡邊崋山言行録 定價金拾錢 郵税四錢
- (第十七編) 熊澤蕃山言行録 定價金拾錢 郵税四錢
- (第十八編) 新井白石言行録 定價金拾錢 郵税四錢
- (第十九編) ナポレオン言行録 定價金拾錢 郵税四錢
- (第二十編) ネルソン言行録 定價金拾錢 郵税四錢

版元 東京鴨居郵便局山縣内 (五三第番座口金貯替換) 會協版出外内

偉人研究

(第二十一編) ウェリントン言行録 定價金拾四錢

(第二十二編) 日蓮上人言行録 定價金拾四錢

(第二十三編) ペスタロッチ言行録 定價金拾四錢

(第二十四編) ゴールドン言行録 定價金拾四錢

(第二十五編) リヴィングストン言行録 定價金拾四錢

(第二十六編) 伊藤仁齋言行録 定價金拾四錢

(第二十七編) 道元禪師言行録 定價金拾四錢

(第二十八編) クロムウェル言行録 定價金拾四錢

(第二十九編) 諸葛孔明言行録 定價金拾四錢

(第三十編) 親鸞聖人言行録 定價金拾四錢

東京貯蓄會 東京貯蓄會 東京貯蓄會 東京貯蓄會 東京貯蓄會 東京貯蓄會 東京貯蓄會 東京貯蓄會 東京貯蓄會 東京貯蓄會

元 版

偉人研究

(第三十一編) 弘法大師言行録 定價金拾四錢

(第三十二編) 徳川光圀言行録 定價金拾四錢

(第三十三編) フレーベル言行録 定價金拾四錢

(第三十四編) 林子平言行録 定價金拾四錢

(第三十五編) 佐久間象山言行録 定價金拾四錢

(第三十六編) 司馬溫公言行録 定價金拾四錢

(第三十七編) 法然上人言行録 定價金拾四錢

(第三十八編) 西郷隆盛言行録 定價金拾四錢

(第三十九編) マホメット言行録 定價金拾四錢

(第四十編) ガリバルヂ言行録 定價金拾四錢

東京貯蓄會 東京貯蓄會 東京貯蓄會 東京貯蓄會 東京貯蓄會 東京貯蓄會 東京貯蓄會 東京貯蓄會 東京貯蓄會 東京貯蓄會

元 版

ナホレオン言行録

偉人研究 第十九編 藤吉柳江編著 ▲再版
 定價金拾錢 郵稅四錢

身はコルシカの落魄せる一掃羅士の子に生れ、あちゆる飄飄と風雲とを駆けつた。其の運命を閉ざし、一朝風雲の集るべきに會する。男は邁進の花を咲かせ、大飛躍を試み、列強の帝王をして其の覇を認めし、彼が一代を貫く超人的性行に至りては、吾人をして驚嘆せしむるものあり。その活動主義、精力主義の好箇の典型となすに足るべし。文學士藤吉柳江氏は、結核に見えざらざるものあり、乃ち本書を著す。本書を分つこと十、彼が家系より始め、少年時代、革命時代、結婚、活動時代、流亡、乃ち本書を古英傑の偉業を解説せしめ、其の遺憾なし。望し近來絶好の快著なり。然も一種の歴史を感ふ。以て到處に

ネルソン言行録

偉人研究 第二十編 松本 趙編著 ▲新刊
 定價金拾錢 郵稅四錢

「東洋のネルソン」とは東郷大將に冠せられたる最も榮譽ある名にあらずや。實にネルソンは海軍の明星として燃然たる光彩を放てり。ネルソンの生涯は一將功成りて萬骨枯ると云ふ如きものにあらず、實に機軸を擧げ、彼は職分のために生命を献げり。トラファルカールにおける彼の血祭は、實に英國を譽れ、英山の安きに掛ける所以にあらずや。英國は待望す、各人その職分を盡すことを「と」いふ。彼が有名なる標榜は、島國の興廢の一舉にあり、各員その努力せよ、といふ。東郷大將の標榜と共、正に青年座右の好伴となるべし。今や茲にネルソン言行録成る。英雄の風貌紙上に躍如たり。正に青年座右の好伴となるべし。

日蓮上人言行録

偉人研究 第廿三編 大屋徳城編著 ▲再版
 定價金拾錢 郵稅四錢

西にル一テルあり、東に日蓮あり、其の人格の偉大、其の大地底に永劫に燃ゆる火の如く熱烈なる信仰心、其の己を天地間最も尊貴なる者として許す嚴肅堅實なる自信、其の信仰の爲めには王者を憚らず刀刃を怖れざるの勇猛心、而かも亦斯くの如き秋霜烈日の性格の一面に看受し得る慈眼愛陽、見來れば此の僧界の二偉人に於て類似の點はいよく多く、隨つて其の戰鬪的宗教家たる一代の活動も略ぼ相類せり、彼等の人格は共に古今を超越し乾坤を空却し堂々として盡未來際に闊歩するものなり、著者今滿腔仰慕の情を以て這個英雄僧日蓮を傳す、文は華麗錦繡の如く、讀者をして恍然卷中に己を忘るゝに至らしめずんば止まず

次 目
 「己」を力とし「己」を光とする「行者」○崩陸羅が子日蓮○清澄山に入る○道を鎌倉に求む○飯山の苦學○三井寺の勤學○南都高野の歴遊○再び飯山に登る○鎌倉の信仰○日輪を拜して題目を唱ふ○清澄の獅子吼○名越の菴居○辻説法○立正安國論を草す○松葉ヶ谷の法難○伊豆の幽囚○小松原の法難○元使來る○龍の口の法難○師弟の情○佐渡が島○日期等佐渡を訪ふ○身証の幽棲○池上の入滅

元版 東京 寄附 口金 貯蓄 郵便 便座 第三 五十五番 井田 山縣 内 郵 局 出 協 會

元版 東京 寄附 口金 貯蓄 郵便 便座 第三 五十五番 井田 山縣 内 郵 局 出 協 會

吉川潤二 譯述 人生の行路

正編 全四冊 金文字入 美裝本 定價 金一圓 郵稅 廿二錢

第一編	人生とは何ぞ	幼年時代の生活	少年時代の生活	青年時代の生活	結婚後の生活	結婚前の生活	結婚後の生活	結婚前の生活	結婚後の生活	結婚前の生活
第二編	結婚とは何ぞ	結婚前の生活	結婚後の生活	結婚前の生活	結婚後の生活	結婚前の生活	結婚後の生活	結婚前の生活	結婚後の生活	結婚前の生活
第三編	結婚とは何ぞ	結婚前の生活	結婚後の生活	結婚前の生活	結婚後の生活	結婚前の生活	結婚後の生活	結婚前の生活	結婚後の生活	結婚前の生活

不朽の價值を有する一種の國民讀本
裨益無限萬人處世の一大教科書

我國出版界に一新潮流を作れる名著
重版又重版新刷第十版茲に成る

元 版 內 外 出 版 協 會

ゴッタルド 言行録

偉人研究 第廿四編 百島操編著 新刊 定價 金拾錢 郵稅 四錢
軍人と相対するゴッタルドの位階は、之を政治家としてのグラウツドスト、文學者としてのゴッタルド、其れと相対するゴッタルドの位階は、志操、事業の清高偉大は、皆世界的にして一國民的にあらざる。世界の人類の光榮なり。詩人テニソン彼の神格に於て彼を頌して曰く、「神の武士、人の友、此の下に昇らねば、汝は遠く荒宴たる蘇丹に死せど、汝は萬人の心に生く。汝にまさる賢朴高尚の人を、此の世界に生きたり」と、人皆知りて、「然り彼は荒宴たる蘇丹に死せり」と雖も、彼の精神は長へに吾人の間に生きつゝあり。此書、章を不死のゴッタルド、一長髮賦征討時代のゴッタルド、「少年時代のゴッタルド」、「グレイブセンドのゴッタルド」、「赤道州總督時代のゴッタルド」、「スーダンに於ける治績」、「ゴッタルド晩年の偉業」、「ゴッタルドのゴッタルド」等に分ちて彼の一生を活潑精叙す。著者は即ち「ソンの言行録」等々を以て名譽に稱はれる新選文士百島操氏なり。

偉人研究 第廿五編 姉齒準平編著 新刊 定價 金拾錢 郵稅 四錢
蘇國ブランドマイヤーの職工より身を起し、熱誠敬虔なる信仰を以て人道の爲に努力すること三十餘年一日の如く、興味無智の黒人と起居を共にして、神の道を傳へ、文明の業を教へ、遂に阿非利加之父とまで呼ばるゝに至りしが、煙雨其の身を汚りて、哀哉イラウ一片の露と消えしものは非利加之父とインケストンなり。英國政府は彼の偉績を認めて、國葬の典を以て彼を榮せり、彼の人物の是れ吾がリ、此の一事を以ても知るに足るべし。彼は精力不休の人なりき、彼は誠なる神の僕なり。世界は到底眞面目なり、人生は到底眞面目なり、吾人苟も眞面目の人と此の世に立たんことを欲せば、彼の言行録を讀んで、彼の所謂暗黒世界の如きは吾人の第一に學ぶべき人物たることを言ふまでもなし。若し夫れ此書を讀んで、彼の所謂暗黒世界の如きは吾人の第一に學ぶべき人物たることを言ふまでもなし。若し夫れ此書を讀んで、彼の所謂暗黒世界の如きは吾人の第一に學ぶべき人物たることを言ふまでもなし。

元 版 內 外 出 版 協 會

編譯泉冷島百

庫文俗通

「通俗文庫」は世界で有名な善い書物を選んで其の梗概を極めて平易に極めて面白く譯述したものである。

(第一編) バンヤの天路歷程 (再) 郵税金貳拾錢

(第二編) ストウ夫人の奴隷トム (再) 郵税金貳拾錢

(第三編) 聖書物語 (新) 郵税金貳拾錢

(第四編) 赤靴物語 (新) 郵税金貳拾錢

(第五編) トルストイの一人巡禮 (新) 郵税金貳拾錢

(第六編) ロビンソン漂流記 (新) 郵税金貳拾錢

ROBINSON CRUSOE

家庭學校少年會等にて大評判

會協版出外内 内邸縣山井染區便郵島集京東 番五十五百三第座口金貯替振 元版

物産好の時近壇文

述譯禧正川皆士學文

語物ルネグワ

錢六稅郵 錢拾六金價定

此書が如新し趣味と

深き哲理とを我が文壇に

「英學生」記者曰く……

今の時少しく文藝の趣味を解する人にして十九世紀文壇の一明星ワグネルの名を知らざる者はなからん。詩人として、歌劇改革者として、彼の事業は實に偉大なものなりき。彼の詩想は、最大にして且つ最美なるものなりき。此書は彼が歌劇中の傑作「リエンジ」「幽靈船」「歌客タンホイゼル」「鶴の武士」「王妃が歎き」歌曲の長「呪詛の指環」の七篇を物語風に書き和らげしものにて、原書の名を「ストーリース・フロム・ワグネル」といふ。譯者皆川文學士は元來此種の翻譯に堪能なる人なれば、此書の譯文も寔にめづりなき出来にして、一卷四百頁興趣満ち溢れ、讀者をして巻中に己を忘るゝに至らしめずんば止まず、文壇近時の好産物と謂ふべきなり。

其他諸新聞雜誌皆好評噴々

會協版出外内 内邸縣山井染區便郵島集京東 番五十五百三第座口金貯替振 元版

碩學ホルドキンの名著

THE BOOK LOVER BY James Baldwin

讀書の趣味

文學士 生田長江譯述 定價金八拾錢 郵稅八錢

▲ラボックの選抜せる世界最良圖書百卷

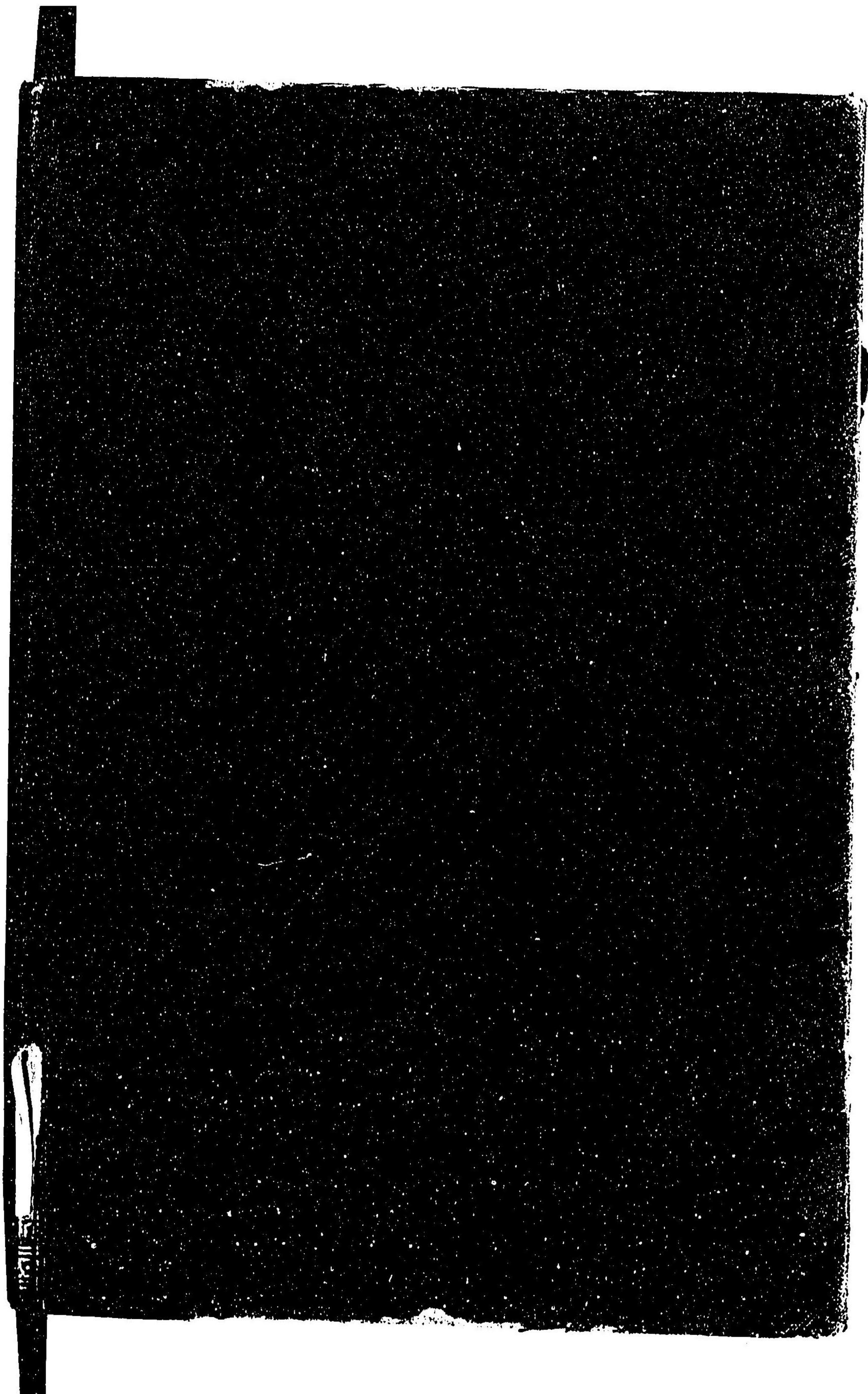
▲パーキンスの選抜せる世界最良小説百卷

▲スタンレーの選抜せる世界最良圖書百卷

▲著者の選抜せる世界最良圖書百卷
を始め、歴史、地理、旅行、哲學、宗教、經濟學、政治學、英文學等の各般に涉りて不朽の著述を列舉し、或は解説をも加へたり。寔に是れ讀書家必讀の書。

元版 內外出版協會 東京集郵便區區井山縣內 撥替貯金口座第三百五十五番

95
45



95
45

013767-000-6

95-45

マホメット言行録

松本 赴/著

M41

ABA-0256

